

## 信州母子保健推進センターだより No.6

県内でインフルエンザの感染者数が大幅に増加し、インフルエンザ警報が発表されています。自身や周囲の方への感染予防対策として、ワクチン接種やこまめな手洗い、うがい等に心がけるとともに蔓延防止に向けた周知をお願いします。

今回は、令和7年度母子保健専門研修会Iの報告と今後の研修会のお知らせ及び「子どものための災害対策」冊子の紹介等についてお伝えします。



## ..... 母子保健専門研修会Iを開催しました（11月13日）.....

「5歳児の成長発達の理解と今必要な支援とは～就学にむけて～」をテーマに、昭和伊南総合病院小児科科長 鈴木 敏洋先生にご講義いただきました。また、南木曽町立なぎそこども園の園長 伊藤 美香先生からは「5歳児健康診査結果を活かしたこどもへの関わり及び保護者支援」について、南信教育事務所 上島 猛先生からは「教育支援で期待される保健師の役割」について、それぞれのお立場からの講義をしていただきました。

【参加者】 57所属 130人      【理解度】 4.5点（5点満点）  
【満足度】 4.4点（5点満点）

研修会の質疑等の内容をお伝えします。

**Q1** 問診票について、どのようなものを使用するとよいか？ SDQだけでは不十分と聞くが、他のスクリーニングを加えたシステム活用について教えて欲しい

問診票は、国のマニュアルなどを基本に、児の特性や発達状況を適切に把握できる内容であることが重要です。また市町村において、生活習慣や子育ての状況などの項目を追加して作成することも可能です。SDQは、子どもの困難さだけでなく、強みも評価できますが、SDQだけでは軽度知的発達症について見逃す可能性があるため、問診票などと両方使うことが求められています。5歳児健診ソフトやシステムの活用を始めている自治体もありますので、情報が入り次第お知らせします。

<取り組み例>

- ・健診ソフトを使い保護者に対してオンラインでの事前問診（一次健診としてのスクリーニングの機能として活用可能）
- ・健診システムを使い、妊娠・出産期から就学までの健診記録を電子化し、システムで一元的に管理
- 自治体所定の5歳児健診の様式に必要な情報を自動で抽出
- 健診当日の個別観察や集団観察の項目をデジタルで管理

**Q2** 運動機能の評価をどこまで健診場面で取り入れるか。問診に記入してもらったものをどこまで確認したらよいか。

問診票の各項目について、実際どの程度できるのか、確認することが大切です。

【各場面での確認項目について】

\*自治体によって確認内容を工夫されている状況です

（5歳児健診を実施している市町村の報告より抜粋）

- 集団遊びのなかで確認  
・運動能力、バランス感覚  
・輪投げ、ケンケンパ  
・順番待ちなど集団での立ち振る舞い

- 保健師の問診のなかで確認  
・問診項目確認  
・じゃんけん、しりとりをやる  
・会話、発音確認

- 医師の診察のなかで確認  
・会話・発音、動作模倣、協調運動、行動制御などを確認  
・問診で実施できなかった項目の確認

## 5歳児健康診査マニュアル改訂版が公表、5歳児健診ポータルが更新されました

5歳児健康診査マニュアル改訂版



今回の改訂では、実施方式として「園医方式」「巡回方式」「二段階方式」「個別健診」について、それぞれの概要や留意事項が新たに明記されています。さらに、7市町村の事例集も掲載されています。



信州母子保健推進センターより

専門研修会では、身体・運動発育、認知、社会性の発達など様々な視点から5歳児の理解を深める学びとなりました。また保育所、教育分野の取組みも知る機会となりました。その子の発達特性も含め、子を取り巻く家庭環境や生活習慣にも目を向け、総合的な支援を行うことが大切と感じます。研修会への参加及びアンケートへご協力いただきありがとうございました。

# ..... 今後の研修会のお知らせ.....

| 研修会                          | 開催日                             | 内容  |
|------------------------------|---------------------------------|---|
| 母子保健専門研修会Ⅱ<br>(長野県立こども病院と共に) | 令和7年<br>12月25日(木)<br>午後1時30分～3時 | 「母子保健活動における小児アレルギー疾患への対応」<br>(仮称)<br>開催方法:Zoomによるオンライン研修<br>＊申込み12月11日まで 詳細は開催要領をご覧ください |
| 母子保健技術研修会Ⅱ                   | 令和8年<br>1月15日(木)<br>午後1時30分～4時  | 「乳幼児健診における聴覚検査のポイント～見逃さないために～」<br>(仮称)<br>開催方法:Zoomによるオンライン研修<br>＊詳細は後日、通知します。          |

## センターから情報提供

### 「子どものための災害対策」～長野県小児科医会作成～



長野県小児科医会作成の冊子をご案内します。  
地震、台風災害など大きな災害が頻発しています。災害時には妊娠婦、新生児、乳幼児は特に配慮が必要です。妊娠時から、災害が起きた時を想像して、備えておくことが望まれます。  
それぞれの機関で、参考にさせていただけたらと思います。

「子どものための災害対策」簡易版については二次元コードからご覧になれます

小児科の病院、クリニックには左の冊子が置かれています。



### 妊婦への「RSウイルス母子免疫ワクチン」接種について

令和8年4月から定期接種になります。定期接種の対象は、妊娠28～36週の妊婦です。母体から胎盤を通じて抗体が移行し、生まれてくる赤ちゃんのRSウイルスを原因とする下気道疾患を予防します。詳細など公表されましたら、センターだよりでお知らせします



### 長野県小児救急電話相談(♯8000)の受付時間が拡大されました



これまで夜間から翌朝の相談のみでしたが、11月から土日・祝日および年末年始(12月29日～1月3日)は24時間相談ができる体制に拡充されました

受付時間 平日:19時～翌朝8時 土日祝日年末年始:8時～翌朝8時



お読みいただいたご感想・ご意見をお寄せください。お待ちしております。

長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ

| 担当圏域           | 母子保健推進員 | 連絡先  |
|----------------|---------|--|
| 佐久・上田・諏訪・伊那・飯伊 | 森 谷     | 長野県庁 疾病・感染症対策課<br>026-235-7141(直通電話)<br>★11月25日から電話受付時間が<br>9時～16時30分に変わりました |
| 木曽・松本・大北・長野・北信 | 秦       |  |